

C-71 若年女子の四肢の下垂形態に関する一考察

都立立川短大 原田隆子 ○吉沢厚子 青山学院女短大 磯谷藤枝

目的 機能的なタイトスリーブの設計ならびに体型と袖つけの位置との関連性の把握を目的として、大学生女子の四肢の下垂形態について写真撮影を行ない、2・3の検討を試みた。

方法 資料は、18～22歳の女子学生40名を対象として、前面および左右側面について望遠レンズ（F2.8/135mm、距離9m）を用いて写真撮影を行ない、写真上で上腕の垂直線に対する傾斜角度および前腕の上腕に対する傾斜角度を測定、ならびに四肢各部を計測した。前面では、前腕を回外位にして肘関節で十分に伸展させた状態で、また側面では、四肢を自然に下垂した状態で撮影を行った。

結果 側面写真において上腕の垂直線に対する傾斜は、40例中左右とも後方に傾いているものが最も多く、次いで±1°以内の範囲のもの、すなわちほぼ垂直に下垂しているものが約1/3あり、前方に傾いているものが約1/4であった。また、前腕の上腕に対する傾斜は、左右とも前方に傾いており、2.5°から20°までのバラツキを示し、平均は、約11°であった。前面写真において、腕角は5°から20°の範囲にあり、平均は、右13.93°、左13.63°であった。